

阿南っ子



由布市立阿南小学校(阿南幼稚園)

学校通信 第41号

平成30年1月23日(火)

文責 校長 阿部 宰士

～1月がどんどん過ぎていく中、阿南っ子たちはいろいろなことに取り組みます～

□ 先週の金曜日(19日)は、2、3年生のスケート教室を実施しました!



2、3年生の26名全員が、思い切りすべって、そしてころんで、スケート教室を楽しみました。

19日は、少し気温が高く天気もよかったので、ころび続けると服が少しぬれてしまう状態でしたが、26名は、ころぶことなど全く気にすることなく、友だちと助け合いながら仲良くどんどんすべり続けました。中には、「すべりすぎて足が痛い」と言う子どももいました。仲良く楽しんだ証拠です。

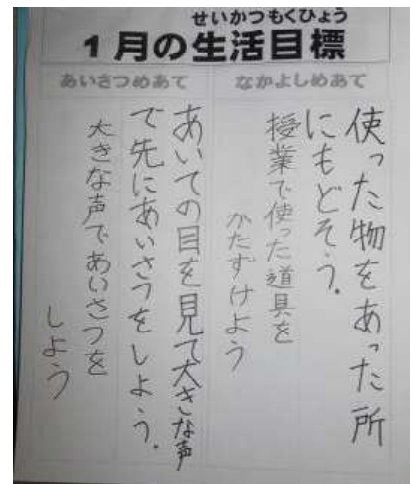
友だちとの楽しい思い出が、また一つできたスケート教室だったと思います。

□ 児童会役員が、自分たちの発案で、毎朝「あいさつ運動」をはじめてくれました!



後期児童会運営委員の人たちが、自分たちの発案で、月・水・金曜日に児童玄関に立って「あいさつ運動」をはじめてくれました。

朝8時頃から児童玄関に立ってくれています。外でみんなと遊びたい気持ちをがまんして、1月の生活目標のあいさつめあて「相手の目を見て、大きな声で先にあいさつしよう」を、阿南小全員のものにするために、いっしょうけんめいにがんばってくれています。



□ 明日から「全国学校給食週間」がはじまります!

先週から各学年通信等で事前のお知らせをしていますが、明日(1/24)から「全国学校給食週間」がはじまります。これは、戦争が終わった後の昭和22年1月に、日本の学校給食が再開されたことを記念して設定されたものです。

当時は、戦後の食料不足の時代で、子どもたちはとてもきびしい栄養不足の状態でした。そんな子どもたちの支援をめざして、学校給食が再開されたのです。

私(阿部)は昭和35年(1960年)生まれなので、再開当時の給食の経験はありませんが、右の写真にあるような給食を食べてきた世代です。

学校給食は、その時々で器やメニューは変わりはしましたが、再開された当時からずっと今にかけて、子どもたちの成長に必要な栄養を提供するという役割を、変わることなく果たしてきています。



アルマイト食器



先割れスプーン



びんの牛乳と
こなのミルク



くじら肉の竜田あげ



白さとうの
あげパン

時代が変わっても、子どもたちに必要な栄養がたくさんつまった給食は、大切にしたいですね。ぜひご家庭で、給食の器やメニューなどをきっかけにして、お話をしていただけたらと思います。